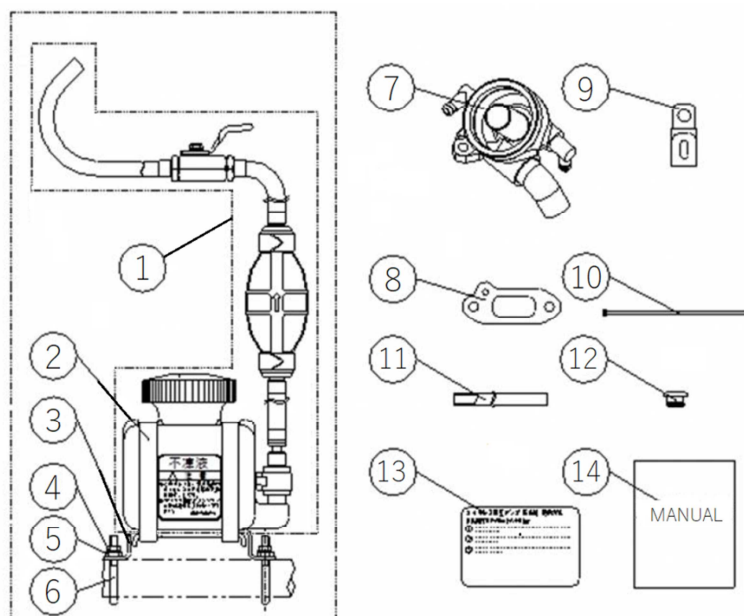


アンチフリーズキットマニュアル

1, はじめに

アンチフリーズキットは、バキュームポンプの凍結防止を目的として不凍液注入を容易に行えるキットです。
また、外気温－10℃以下で吸水を行う場合、吸水完了と同時にバキュームポンプ内に入った水が急激に凍結し、バキュームポンプが作動不能になることを防止します。



No.	名称	個数	備考
①	プライマバルブアッシ	1	不凍液ポット付き
②	バンド	(2)	
③	マウントポット	(1)	
④	スプリングワッシャ	(4)	
⑤	サポートプレート	(2)	
⑥	U ボルト	(2)	ナット付き
⑦	ストレーナケースアッシ	1	
⑧	ガスケット,VP インレットエルボ	1	
⑨	クランプ	1	
⑩	バンドリードワイヤ 200	1	
⑪	パイプ	1	ポンプへ不凍液を注入時に使用
⑫	グロメット	1	ポンプへ不凍液を注入時に使用
⑬	アンチフリーズコーションラベル	1	
⑭	アンチフリーズキットマニュアル	1	本書

2, 取付方法



2-1 準備

- 1) ポンプを安定した場所において作業を行います。
- 2) トップカウルを外し、エンジンやマフラ、バキュームポンプが充分冷えていることを確認します。
- 3) 下記の工具を準備します。

使用工具	サイズ
めがねレンチ (8, 10)	8,10mm
T型ボックスレンチ 又はT型ユニバーサルレンチ	10,13mm
プライヤ	
ニッパー	
ドライバ	マイナス (-)

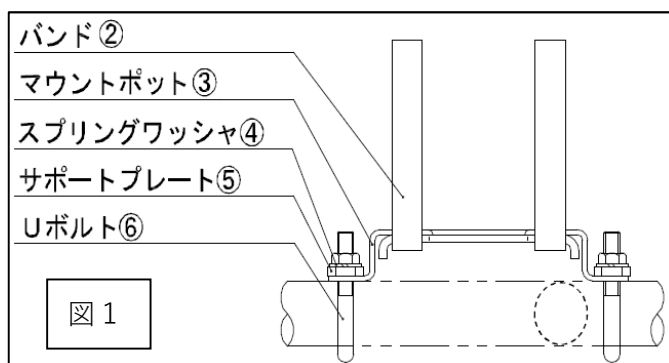
2-2 取付

1) マウントポット③の取付

使用部品	個数
マウントポット③	1
Uボルト⑥	2
サポートプレート⑤	2
スプリングワッシャ④	4
バンド②	2

使用工具	サイズ
めがねレンチ	10mm
T型ボックスレンチ (又はT型ユニバーサルレンチ)	

- a, 取付け位置は写真1の丸印部（バッテリーの横）に取付けます。
- b, 各部品は図1に示す様に、水平に取付けます。



2) プライマバルブアッシ①取付け

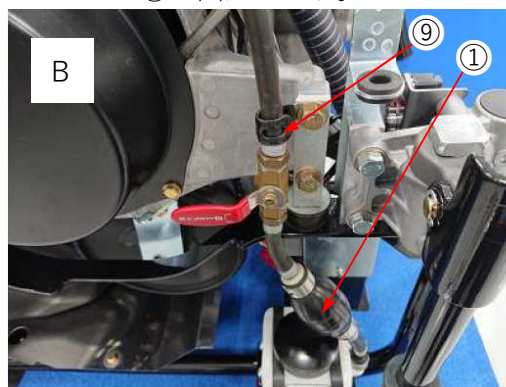
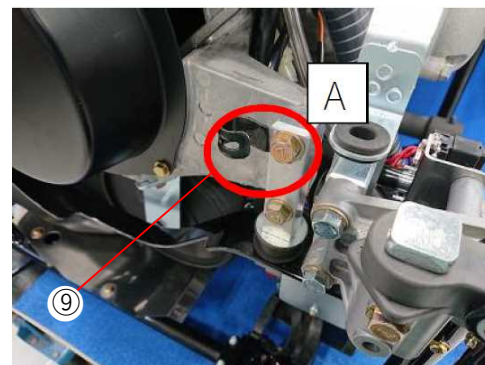
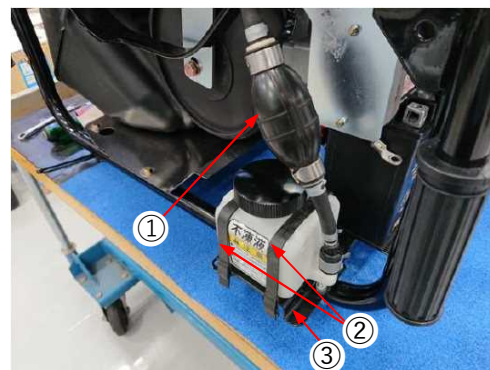
使用部品	個数
プライマバルブアッシ①	1
クランプ⑨	1

使用工具	サイズ
T型ボックスレンチ (又はT型ユニバーサルレンチ)	13mm

a, マウントポット③にプライマバルブアッシ①を載せ、バンド②で固定します。

b, 写真A部にクランプ⑨を取付けます。

c, プライマバルブアッシ①のホースを写真Bのようにクランプ⑨で固定します。



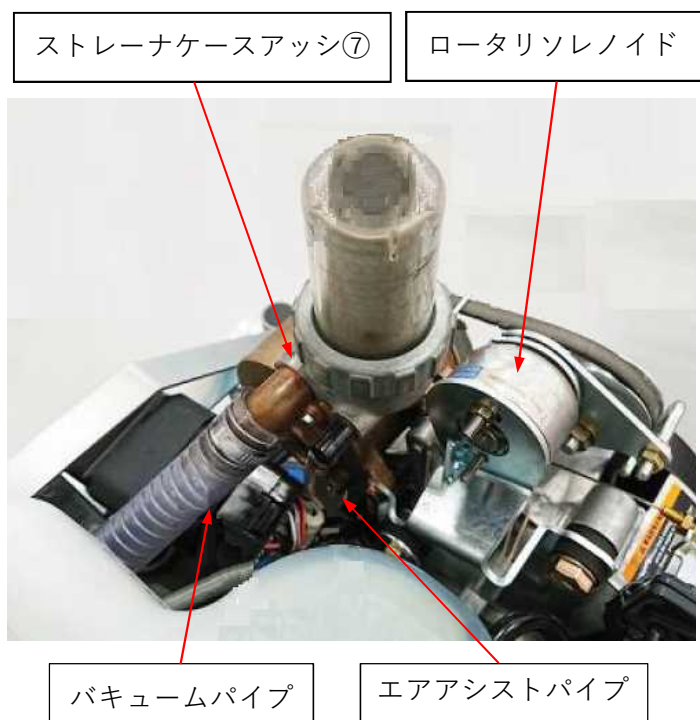
3) ストレーナケースアッシ⑦の組替え

使用部品	個数
ストレーナケースアッシ⑦	1
ガスケット⑧	1

使用工具	サイズ
めがねレンチ	8,10mm
T型ボックスレンチ 又はT型ユニバーサルレンチ	10mm
ドライバ	マイナス (-)

a, バキュームパイプ, エアアシストパイプを外します。

b, バキュームポンプ用ロータリソレノイドを外します。



※写真 C の長穴調整部分が、元の V ベルトのテンションになるようにマーキングなどを行う。(Ti モデルのみ)

c, ストレーナケースアッシ取付けボルトを外し、ストレーナケースアッシ⑦に交換します。

※ガスケットは必ず交換します。

※ストレーナケースアッシ締付トルク：10 Nm



d, バキュームポンプ用ロータリソレノイドを元の状態に組み戻します。

e, バキュームポンプストレーナなどをストレーナケースアッシ⑦に付け替えます。

f, バキュームパイプとエアアシストパイプを元に戻し、プライマバルブアッシ①のパイプを写真 D のように組付けます。

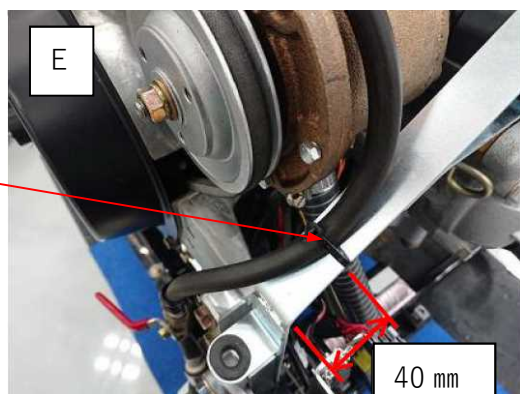


プライマバルブアッシ①

g, プライマバルブアッシ①のホースをブラケットにバンドリードワイヤ⑩にて写真 E のように固定します。

※バンドリードワイヤ⑩はブラケットの端から 40 mm の位置で締めます。

※バンドリードワイヤ⑩を締め過ぎて、パイプを潰さないように注意します。



h, トップカウルを取付けます。

4) アンチフリーズコーションラベル⑬をトップカウルの写真 F の位置に貼り付けます。



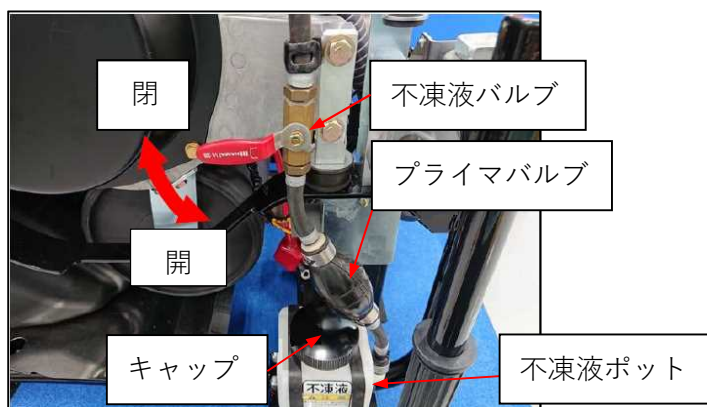
アンチフリーズコーションラベル⑬

3, 使用方法

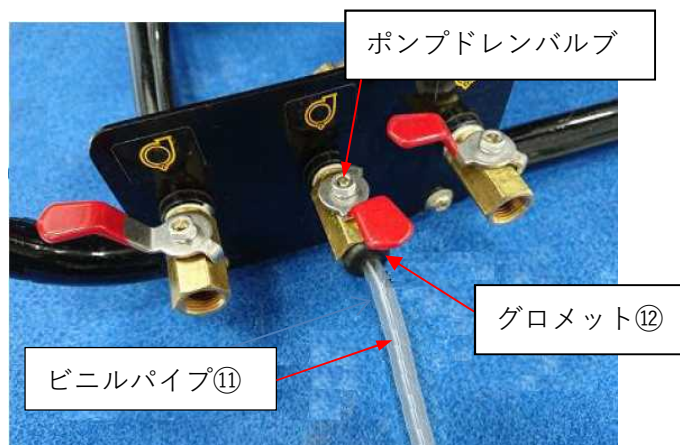
3-1 ポンプ保管時

- 1) 不凍液（LLC）を不凍液ポットに約半分（180～200mL）入れます。

※初めて使用する場合、または不凍液がポットに入っていなかった場合



- 2) 吸水管を外し、ポンプ、マフラ、エンジン、吐出のドレンバルブを開き、排水します。
- 3) 完全に排水した後、ポンプ排水以外のドレンバルブをすべて閉じ、吸水口キャップを取付けます。
- 4) ポンプドレンバルブにキット付属のグロメット⑫およびビニルパイプ⑪を取付けます。
- 5) ビニルパイプ⑪の他端を不凍液ポットのキャップを外し、中に入れます。
- 6) 不凍液バルブを開きます。



- 7) 下記の手順で運転を行い、不凍液ポット内の不凍液を吸わせます。
 - a, 電源を入れます。
 - b, 自動吸水スイッチを「ON」にします。(Ti モデルのみ)
 - c, スロットルを吸水位置（P ポジション）に合わせ、エンジンを始動します。
 - d, バキュームポンプを約 30 秒間作動させて、不凍液を吸わせした後、エンジンを停止します。
- 8) ポンプドレンバルブを閉じ、グロメット⑫及びビニルパイプ⑪を外します。
- 9) 不凍液バルブを閉じます。

※Ti モデルは自動吸水が作動し、約 30 秒後に吸水不能にてエンジンが自動停止します。

- e, 電源を OFF にします。
- 10) 最後に不凍液（LLC）を不凍液ポットの「UPPER」位置まで入れ保管します。（容量約 400mL）



3-2 寒冷地でのポンプ運転時

- 1) 吸水前に不凍液バルブを開き、プライマバルブを 3 回握り、不凍液をバキュームポンプに注入します。
- 2) 不凍液バルブを開けたまま、バキュームポンプを作動させ不凍液を吸入させます。
- 3) 上記完了後、プライマバルブを 3 回握り、不凍液をバキュームポンプに注入します。



注意

- ・ 不凍液ポットの容量は、約 400mL です。約 10 秒バキュームポンプを作動すると無くなります。
- ・ 寒冷時使用（外気温 -10°C 以下を目安） の場合のみ不凍液バルブを開きます。

1Y0-31578-0